2. 中里貯水池の主な写真

中里ダムはわが国のアースダムでは、堤高第7位、総貯水量第6位、堤体積 $(2,970 \pm m^3)$ は第1位と最大級。まさに三重用水の水がめの役割を果たしています。

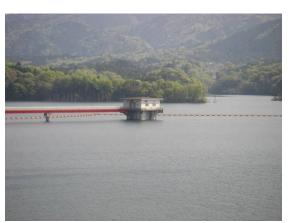


①水源管理所(右岸)からの中里ダム 貯水池とダム堤体の上流面です。 満水位は標高192m。 堤頂長は985mもありますので、全 景を写すのはむずかしいです。

背後は養老山地です。



②同じく、水源管理所からの中里貯水 池とダム堤体の上流面です。写真左に は取水塔があります。この取水塔から、 取水した水が幹線水路を南下して員弁 幹線水路、宮川調整池、菰野調整池、 そして加佐登調整池に導水されます。 写真は秋・紅葉の季節です、四季折々 の北勢の風景を見せてくれます。



③取水塔です。水面に浮かんでいるの は網場(あば)と呼ばれる、流木など がはいるのを防いでいます。



④ダムの左岸側からの写真です。 後方は、鈴鹿山地、写真左端が藤原 原岳、中央部が御池岳、その左が鈴 ケ岳です。山向こうは滋賀県永源寺 や彦根市多賀町になります。



⑤取水塔からの水源管理所です。



⑥中里ダムは、員弁川上流部の砂子 沢川と大平川の2つの川を締め切っ て建設されています。

写真は左岸側の砂子沢堤で、写真 奥は大平堤になります。写真左端は 石灰岩が採掘されている藤原岳です。



⑦右岸側の大平堤の堤体下流面の堤趾(下流端)です。堤高は46.0m近くからは大きすぎて、一枚の写真にはうまくはいりません。

堤趾部は岩石が盛り立てられていま す。



⑧大平堤の中央部には管理用の通路 が設けられています。



⑨洪水吐きの越流部 満水位以上のとき洪水を安全に下 流に流す施設です。 対象流量は144m3/s。



⑩洪水吐きの導流部 写真⑨からの水を下流に流す水路です



①洪水吐きのシュート部と減勢工写真⑩からの水を下流の河川に水の勢いを減らして放流します。